

パリティビット

(複数誤りが発生する確率が十分低いときに)

送信データにパリティビットを 1 ビットつけて、誤りを検知する

→ 偶数個誤った場合は感知できない。

送信データ + パリティビットが 0 になるようにパリティビット設定してつける方法

→ 偶数パリティ (注意 : $1+1=0$)

元データ	受信データ	合計判定
000000	000000	0=OK
000000	001000	1=NG
001001	000101	2=OK
001001	000100	1=NG

送信データ + パリティビットが 1 になるようにパリティビット設定してつける方法

→ 奇数パリティ

000001	000001	1=OK
000001	001001	2=NG
001000	000100	1=OK
001000	000101	2=NG

注意 : 偶数個誤った場合は感知できない。

偶数パリティの場合

000000	010100	2=OK
001001	011101	2=OK

2 つエラーになっているのに合計が偶数になっているので認められている

宿題

送信データ 3 ビット + パリティビット 1 ビット

この時の事について図 4.4 と同じことを同じ形式で書く。

図 4 . 6 を D A T の 3 つだけ (A が一つ消える) にして同じ事を書く。

CRC この誤り検出方法を加法から除法にした方法